

本庄市こども計画（案）に対する意見と市の考え方

1. 意見等の募集期間：令和7年1月10日（金）～令和7年2月10日（月）
2. 意見等の受付人数：5人11件（提出方法の内訳：持参1人、電子メール2人、FAX2人）
3. 提出された意見及び市の考え方

No.	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
1	12	<p>「令和2年度と比較して私立保育所が3園減少しており」及び「基本目標5 子ども・子育て支援事業の推進（95ページから）」内の複数箇所。</p> <p>上記に起因することとして、0～2歳児の保育料負担が大きな原因であると考えます。私自身や、市内同世代家庭に関しても、これを理由に2人目を産むことに対し躊躇しています。3人目となれば変わってきますが、そこまでの負担は大きなものです。近隣の深谷市や上里町のように、保育料無償化を即時に行うべきと考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、妊娠や出産の希望を持つ方が安心してその希望を実現できるよう、経済的な不安の解消に係る取組は重要であると認識しています。</p> <p>そのため、子育て世帯に対する経済的支援策の1つとして、こどもを産み育てたい方の後押しとなるように、第2子以降の保育料の無償化について検討することとしております。</p> <p>なお、令和2年度と比較し、減少した私立保育所3園は、施設種別が認定こども園へ転換しましたが、いずれの施設も継続しています。</p>
2	60～	<p>こどもを間接的に支援する計画がたくさんあることはわかりましたが、こどもが直接うれしい、楽しいと感じられるような事業があるともっといいなと思いました。これから、直接こども・若者へ向けた事業が増えると、もう少し具体的に意見が出しやすいと思います。</p>	<p>「こどもまんなか」社会を実現するためには、こども・若者の意見を聴き、その意見をこども施策に反映することが求められています。</p> <p>本計画の基本理念にも取り入れている「こどもまんなか」社会の実現を目指すにあたって、ご指摘のとおり、計画期間においてこども・若者の意見を聴く体制や環境を工夫し、こども・若者の意見形成や意見表明の機会が確保される取組を推進します。</p>

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
3	64	<p>近年 SNS などのインターネット上のトラブルが多々起きている。そのトラブルにより命に関わる事案もある。そこで、「10. 青少年健全育成事業」の項目に「情報提供や注意喚起を行う・・・」とあるが、そこにとどまらず、SNS のいじめ事案について子どもたちに、正しい知識を教育する取り組みを入れることを提案します。</p>	<p>スマートフォンなどの通信機器を持つ子どもや若者が増え、ご指摘のとおり全国的に SNS をきっかけとする犯罪やトラブルに巻き込まれるケースは増加していることから、子どもや若者自身が正しい知識を身につける必要があります。</p> <p>市では、市立小中学校における非行防止教室などの実施を通じて、児童生徒やその保護者の ICT リテラシー向上の推進を図っており、引き続き、事業を推進します。</p>
4	64	<p>外国籍の子どもに目を向け、外国籍の子どもには、日本で生活していくために、日本語の獲得が課題となっている者もいるように思う。</p> <p>学校教育の中でも行っていることとは思うが、地域の支援として本庄市国際交流協会との協力も念頭に、子どもの言語獲得における支援を挙げてほしい。</p>	<p>本市においても、総人口が減少傾向で推移する一方で、外国人人口は増加を続けており、地域社会の多文化共生や国際交流が進んでいく中で外国にルーツを持つ子どもの言語獲得は、社会生活を送る上で必要となります。</p> <p>市では、市立小中学校における日本語指導教室の設置や国際交流協会会員ボランティアによる日本語教室の実施を通じ、外国にルーツを持つ子どもの言語獲得に向けた支援を実施しており、引き続き、事業を推進・支援します。</p>
5	67	<p>令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定で高次脳機能障害支援体制加算（障害児相支援）が新設されたことを受け、高次脳機能障害を有する障害児への相談支援体制を整備していくことを、施策として位置づけて下さい。</p>	<p>高次脳機能障害などの障害を有する子どもが、住み慣れた地域で、自分の意思で住み続けていくために、地域における切れ間のない支援体制を整備することが大切です。</p> <p>ご提案の施策については、本計画 67 頁に記載の「障害がある児童の総合療育相談とケアマネジメント事業」において、高次脳機能障害を有する子どもを含めた障害児への相談支援を実施しており、引き続き、事業を推進します。</p>

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
6	67	<p>「強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児に対する支援体制の充実」という施策を位置づけて下さい。</p> <p>また、次期の障害児計画においては、国の基本指針に即して「強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児に対する支援体制の充実」といった施策を位置づけて、強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児への支援を計画的に実施してってください。</p>	<p>強度行動障害や高次脳機能障害などの障害を有するこどもに対して、適切な支援ができるよう支援ニーズを把握し、支援体制の整備を進めることが大切です。</p> <p>ご提案の施策については、本計画 67 頁に記載の「障害がある児童の総合療育相談とケアマネジメント事業」において、高次脳機能障害を有するこどもを含めた障害児への相談支援を実施しており、引き続き、事業を推進します。</p>
7	73	<p>市民アンケート調査（本庄市子ども・子育て支援に関するニーズ調査）の結果、④「本庄市内の公園に満足していますか。」の項目で、児玉中学校区での満足度が他の中学校区と比べてやや低い結果となっていることを踏まえ、児玉中学校区での公園整備について考えていく必要を感じる。</p>	<p>ご指摘のアンケート結果について、公園整備を所管する都市計画課と情報共有し課題として認識しています。</p> <p>児玉中学校区における公園整備につきましては、本市における緑と公園の将来像を示す「本庄市緑の基本計画」との連携を図りながら、関係部署や関係団体、地域と協働し、課題解決に向けた検討を図ります。</p>
8	73	<p>かつては、児玉城山公園にはくじゃくなどの鳥や猿などの生き物を飼っていたり長いすべり台やぶらんこなどの遊具も充実していた。また、公園北側の湿地には、あやめが群生していて、桜とともに市民の心をいやすものであった。まずは、児玉の中でおおきなこいの場であった城山公園の整備を挙げてほしい。</p>	<p>城山公園として市民に親しまれている雉岡城跡について、ご提案の取組は雉岡城跡の管理を所管する文化財保護課と情報共有し、今後、本庄市文化財保存活用地域計画に基づき、史跡としての保存・活用に向けて検討を進めるにあたり、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
9	73	<p>「公園の不満の理由」に「近くに公園がない」とあがっていたが、各地域に何か所かあるように思うので各公園を利用したイベント（地域での清掃活動や花植えなどでもよいと思う）を計画するなどして、公園の存在をアピールし、周知する必要性を感じる。</p>	<p>ご指摘のアンケート結果について、公園整備を所管する都市計画課と情報共有し課題として認識しています。</p> <p>子育て支援の充実を図るうえで貴重なご意見として、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
10	全般	<p>非認知能力を向上させる取組を本庄市にも採用してほしいです。</p> <p>AI や chatGPT が台頭する今日、暗記してテストするなどの数値で測れる認知能力よりも、勤勉さ、素直さ、継続力、リーダーシップなどの非認知能力がより重要になると思います。</p> <p>具体的な施策として、例えば名古屋の山吹小学校では、イェナプラン教育を参考にした方法を取り入れています。児童自らが学習計画を立てるセレクトタイムを導入し、学習の方法や場所にとらわれないで学習をしています。この例にならい、名古屋市ではこの学習方法を市の全小中学校に取り入れる予定だそうです。</p> <p>また、群馬県では「群馬県非認知教育専門委員会」を設置、元横浜創英中高校長の工藤勇一氏や、教育経済学者の中室牧子氏を委員とし、横浜創英中高と連携した非認知能力向上への取組みを、まずは中学校、高校 2 校で開始、2027 年度には県内各校へ展開する予定だそうです。抜本的は変えるのは難しくとも、上の例のように小さくはじめることはできるかと思います。ぜひ本庄市でも採用のご検討、お願い致します。</p>	<p>非認知能力とは、学力や知識とは直接関係のない心の働きや人間関係に関する能力で、意欲やコミュニケーション能力、協力する力などが含まれます。また、知識や技能といった認知能力と相互に関連しており、教育や保育の現場において非認知能力を伸ばそうとする取組が行われています。</p> <p>ご提案の取組について、教育委員会をはじめとする関係機関や関係団体と情報の共有を図りつつ、本市の子育て支援の充実に図るうえで貴重なご意見として今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
11	全般	<p>いろいろなアンケートをしたり、また、いろいろな事業もしていることもわかり、いい計画だと思いますが、せっかくなので、多くの人にわかりやすく伝えることができるとよいと思います。</p> <p>これだけ長い文章は、なかなか普通は読む気にならないと思うので、わかりやすく伝える方法を工夫してもらいたいです。</p>	<p>本計画は、全てのこども・若者、子育てをしている皆様が幸せな生活を送るために作成したものです。本計画の策定趣旨や基本理念、基本目標や各取組等についての理解促進を図るため、本計画の策定に併せて概要版の作成を進めており、ご提案のとおり、本計画が対象とするこども・若者、子育て当事者の皆様に、本計画の趣旨や内容が伝わるようそれぞれの視点に立って工夫します。</p>